

令和4年度通常総会

令和4年度通常総会を、令和5年5月25日(木)午後4時から、71人(本人出席30人、委任状出席41人)の組合員のご出席を頂き、シェラトン都ホテル大阪において開催しました。

総会では、令和4年度事業・決算報告及び令和5年度事業計画・予算(案)などの審議が行われ全議案が原案どおり承認された後、任期満了に伴う役員の変更が行われ理事19人、監事2人の新役員が選出されました。その後、新役員による理事会が開催され、中村理事長、駒谷・水上・山本副理事長、飯田専務理事、駒尺常務理事、熊谷会計理事の五役が前任期に引き続いて選出されました。

総会終了後、暫く休憩の後、甲南大学の西村順二経営学部教授を講師にお迎えして、「現代の中小企業・中堅企業における経営戦略の方向性」と題して講演会を開催しました。

氏は、「M・Z世代が2025年には生産年齢人口の過半数に達する。コストリーダーシップ、差別化・集中(ニッチ)から事業システムの差別化の時代へと移行する。企業は社会的存在意義を問われてくる。モノ・サービスを売る時代から事業システムを売る時代に変化している」など、示唆に富んだ講演を頂き、皆さん熱心に聴講されていました。なお、参加者の質問に対し、「卸売業は、資産償却の済んだ設備を活かし生き残ることができる。」とのお答えが印象に残りました。

講演会終了後、会場を移動し、西村教授にもご参加頂き会員懇親会を開催しました。中村理事長の挨拶のあと、安田理事の乾杯のご発声を頂き、出席者相互に親しくご歓談いただきました。

理事長挨拶



通常総会



講演会(甲南大学 西村教授)



懇親会

